

宇都宮市立富士見小学校 第4学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

【家庭での様子】について

○「家で、学校の授業の予習をしている」について、肯定割合は64.7%で、県の平均を9.3ポイント上回った。また、「家で、テストで間違えた問題について勉強をしている」について、肯定割合は71.6%で、県の平均を6.2ポイント上回った。児童が自分に必要な学習を考えて勉強した結果と考えられる。今後も、予習・復習の大切さについて声掛けをしていく。

●「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」について、4時間以上と回答した割合は16.4%で、県の平均を2.1ポイント上回った。また、「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか」について、4時間以上と回答した割合は6.0%で県の平均を0.9ポイント上回った。スマホ・宮っ子ルール共同宣言やノースマホデー・ノーゲームデーの機会を活用することで、テレビゲームやスマートフォンの適切な利用の仕方について、家庭の協力を得ながら、学校でも啓発を続けていく。

【学校での様子】について

○「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」について、肯定割合は86.2%で、県の平均を4.7ポイント上回った。また、「疑問や不思議に思うことは、分かるまで調べたい」について、肯定割合は79.3%で、県の平均を13.1ポイント上回った。授業の中で、児童の興味を引くような課題提示をしたり、児童それぞれが課題と向き合う時間を十分に確保したりした結果だと考えられる。今後も、児童一人一人が目的意識をもって学習できるような授業づくりに努めていく。

●「授業の最後に、学習したことを振り返る活動をよく行っている」について、肯定割合は71.5%で、県の平均を3.0ポイント下回った。今後はより一層、めあて・まとめ・振り返りといった授業の構成を明確にすることで、児童がその日の授業を振り返ることができたという実感がもてるような、分かりやすい授業づくりに努めていく。

○「自分はクラスの人の役に立っていると思う」について、肯定割合は69.8%で、県の平均を7.3ポイント上回った。また、「毎日の生活が充実していると感じている」について、肯定割合は91.3%で県の平均を6.3ポイント上回った。学校生活アンケート等を活用した児童が安心して過ごせる環境づくりや、児童のよさや努力したことに対する称賛の結果だと考えられる。今後も児童に寄り添い、一人一人が自己有用感をもてるような学級づくりに、学校全体で努めていく。

【社会のこと】について

○「家の人は、あなたが褒めてもらいたいことを褒めてくれる」について、肯定割合は91.3%で、県の平均を7.2ポイント上回った。また、「家の人と学習について話をしている」について、肯定割合は88.0%で、県の平均を11.5ポイント上回った。児童は、家庭の中で認められたり、学習について話したりすることで、安心して学校生活を送ることができていると考えられる。今後も家庭との連携を密にし、協力しながら教育活動に取り組んでいく。

●「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ている」について、肯定割合は76.8%で、県の平均を2.1ポイント下回った。また、「新聞を読んでいる」の肯定割合は12.9%で、県の平均を0.4ポイント下回った。今後は、各教科や特別活動等の指導において、日本や世界の諸問題に触れるなど、工夫して教育活動を行うことで、身近なところ以外での問題等に興味をもち、自発的に知ろうとする児童の育成に努める。